

平成26年10月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成26年10月23日(木) 14時00分～14時43分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

4 欠席委員

國弘委員

5 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、
江山学校教育課長、上村社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、
小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

(議案)

○議案第1号「山口市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則」

(概要)

山口市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について、承認された。

1. 内容

・平成27年4月から始まる子ども・子育て支援新制度にあわせて、3歳児の受け皿が十分でない地域の市立幼稚園での3歳児保育を開始するため、その実施する幼稚園と定員を定めるもの。

(主な意見や質疑)

質問： 鑄銭司、名田島、二島の各幼稚園における4歳児と5歳児の定員をそれぞれ35人から20人に減らした根拠は何か。

回答： これらの地区における子ども数の見込みを勘案しても、十分な定員が確保されるためである。

質問： なぜ宮野幼稚園のみ、3歳児の定員を3～5歳児の定員合計の範囲内で融通することができないのか。

回答： 宮野幼稚園については、その周辺にも3歳児の受け皿があるため、定員を融通することができないとし、定員をオーバーした場合には抽選を行うこととしている。

(報告事項)

○報告第1号「全国学力・学習状況調査結果の公表について」

(概要)

全国学力・学習状況調査結果の公表について、事務局から報告があった。

1. 内容

(調査期日) 平成26年4月22日
(調査対象) 小学6年生、中学3年生

(調査内容)

- ・教科に関する調査(国語、算数・数学)
※各教科の知識に関する「A問題」と、活用に関する「B問題」の2種類あり
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問

(調査結果)

- ・各教科の成果と課題、「成果を上げた取組の一例」等を市のホームページで公表

(主な意見や質疑)

意見 : 成績の伸び率や平均など、昨年度との比較も入れると、さらによかったと思う。

意見 : 学校の取組については、数年間続けたが、成果が上がらなかった、あるいは変わらなかったということも、市民に伝えなければならないと思う。特に、学校運営協議会へのそのような情報提供は必要である。

意見 : 先生たちが問題を作り、教え合うことは、子どもたちを指導する力の向上につながるため、そのような取組なども紹介されるとよい。

○報告第2号「社会教育委員会議の協議内容について」

(概要)

社会教育委員会議の協議内容について、事務局から報告があった。

1. 内容

- ・「若者学びの広場開催事業」の協議
早朝に講座を開催するなどの柔軟な考え方を持つことや、若者の主体性や企画力を受け入れ、地域の年配者や職員が一緒になることが重要であり、今後、地域の範囲を広げてやる価値があるのではないかという意見があった。
- ・「協働のまちづくりと社会教育」をテーマにした今期の振り返り
生活様式が集団から個に移っている中、集団に戻していくことが課題であり、地域や人のつながりをつくっていくことが、今後、地域交流センターや社会教育に求められるのではないかという意見が大半を占めた。このほか、市が事務局を受け持っている団体や組織の運営が難しくなっているため、自立させていくための社会教育が必要であるという意見があった。

(主な意見や質疑)

質問 : 山口市青少年健全育成会議の場合には、会長と事務局を兼ね、運営が難しい地区もあるが、各地区での事務局とその活動状況はどうなっているのか。

回答 : 各地区では、地域交流センターが事務局となり、地区の方が運営を行っているが、阿東地域交流センターの嘉年と地福の分館は、地区の方が事務局となり、運営されている。活動の内容としては、巡回パトロールや研修会が多い状況である。